

科目達成レベル

(カリキュラム・マップ 1/4)

			科目名	ミナ ナ イ 大 学 教 育 入 門 ゼ ミ	英 語 I	英 語 II	英 語 III	英 語 IV	学 ス ポ ー ツ 健 康 科	情 報 処 理 基 礎	地 域 コ ア I	地 域 コ ア II	地 域 コ ア III	基 礎 物 理 I	基 礎 物 理 II	基 礎 化 学	文 化 人 類 学	法 学 （ 日 本 国 憲 法 ）	社 会 学	教 育 学	
ア ウ ト カ ム	コンピテンシー	コンピテンシー小領域 （詳細は1/4の説明を参照）	必修・選択 単位数	必2	必1	必1	必1	必1	必2	必2	選必2	選必2	選必2	選2	選2	選2	選2	選2	選2	選2	
			教育課程表区分	共通教育																	
			履修年次	1年次																	
コンピテンシー小領域の説明 / 科目番号				GISEM 180	GBFOR 180	GBFOR 181	GBFOR 182	GBFOR 183	GBHEA 180	GBBAC 180	GCITM 180	GCSSE 180	GCNPE 180	GSSNT 187	GSSNT 188	GSSNT 189	GSHCU 182	GSSNT 182	GSSNT 185	GSSNT 186	
1 医 療 人 と し て の 態 度	(1) 人間性の形成と コミュニケーション	① 一般教養	人間や社会、科学、文化に関する教養的知識を有し、豊かな人間性の形成に努めることができる。						C		C	C		C	C	C	C	C	C	C	
		② 共感力	人の行動と心理の基本を理解し、相手の立場に立って考え、話を聴き、尊重と思いやりの心を持って、他者に共感できる。																		
		③ コミュニケーション力	コミュニケーションの基本を理解し、対象者、その関係者と信頼関係を築き、コミュニケーションを実践できる。	C																	
		④ プレゼンテーション力	修得した知識や情報、自己の意見を明確に伝え、質問に的確に対応できる。	C																	
		⑤ 英語力	コミュニケーションに必要な基礎的英語力を持つ。		C	C	B	B													
	(2) 全人的理解と プロフェッショナリズム	① 全人的対象理解	人間、生活、健康、環境及び各々の関連を踏まえ、対象者をアセスメントできる。																		
		② 多様性	対象者とその関係者の心理・社会・文化的背景と価値観を理解し、多様性を受け入れることができる。																		
		③ 自己管理	自己の生活を整え、健康を管理できる。	C						C											
		④ 課題対応	自ら知識や情報を修得し、それをもとに課題の抽出、目標設定、解決ができる。																		
		⑤ 礼儀とマナー	適切な身だしなみや言動、社会のルールやマナー、常識に従って、礼節ある態度・行動をとることができる。	C						C											
		⑥ 使命感	看護職として使命感を持ち、責任感を持って行動できる。	C																	
		⑦ 看護の法的基盤	関係法規を理解し、看護における法的責任・規範を遵守できる。																		
	(3) 看護倫理と ヒューマンケア	① 倫理観	看護における倫理的問題を理解し、倫理的原則に基づいて行動できる。																		
		② 尊厳・権利擁護	対象者の尊厳と権利を擁護するための援助的人間関係を形成できる。																		
		③ 説明責任	対象者に看護行為について適切に説明し、同意を得ることができる。																		
		④ 意思決定支援	対象者の価値観を尊重し、意思決定を支援できる。																		
2 医 療 人 と し て の 知 識 ・ 技 能	(4) 看護学及び関連領域 の知識と根拠に基づ いた看護実践	① 対象理解の基礎科学	自然科学・行動科学・社会科学の知識を修得し、対象者理解のために応用できる。						C				C								
		② 看護実践の専門基礎科学	主要な健康障害について、病態と回復過程、診断に用いる検査・治療に関する看護実践を説明できる。																		
		③ 看護技術	基本的看護技術を適切に実践できる。																		
		④ 看護過程の展開	対象者の生活歴、病歴及び経験や意向に沿ったニーズを正確に把握し、対象者を多面的にアセスメントできる。根拠に基づき適切な看護計画を立案し、目標達成に向け看護を実践できる。																		
		⑤ 看護の質と安全	医療安全の知識を持ち、対象者及び医療者の安全・安楽を考慮し、対象者のQuality Of Life向上をもたらす看護を実践できる。							C											
	(5) 特定の健康課題に 対応する看護実践	① ライフステージ	発達段階・ライフステージに応じた看護を実践できる。																		
		② 健康レベル	健康生活の保持と健康障害の予防に貢献できる。また、急激な健康破綻と回復、慢性疾患及び慢性的な健康課題、エンドオブライフ期に応じた看護を実践できる。																		
		③ 在宅看護	地域社会のニーズに対応した在宅看護が実践できる。																		
	(6) 科学的思考と生涯に わたる看護の探求・ 研鑽	① 科学的研究	科学的研究の理論・方法論を理解し、科学的根拠に基づく論理的・批判的思考ができる。							C	C										
		② 科学的探究心	看護における課題対応のための科学的な探究心を持つ。																		
		③ 生涯学修	日々進歩する看護学的知識・技能を、生涯に渡って学修する基本的能力を有する。	C																	
3 地 域 性 人 と 関 連 性 の 医 療 人	(7) 多様なケア環境・地域 特性と支援チーム 体制・協働	① チーム医療	医療チームの構成員として、メンバーと協調性を持って良好な人間関係・チームワークを築くことができる。	C																	
		② 多職種連携	医療・保健・福祉チームに関わる各職種の役割と専門性を理解し、互いに尊重できる。																		
		③ 地域包括ケア	地域ケア構築の必要性と地域包括ケアにおける看護の役割を理解し、地域住民と連携し協働できる関係を構築できる。																		
		④ グローカルな視点	異文化・異社会に関心を持ち、グローバルな視点で看護を実践できる。																		
	(8) ふくい看護力	① ふくいの医療・保健・福祉	ふくいの医療・保健・福祉の現状と課題を把握し、説明できる。	C										C							
		② へき地医療	へき地の地域特性に応じた看護実践ができる。																		
		③ 指導力・相談対応力	学生間で看護学の知識・技能・態度に渡る指導・相談対応ができる。																		

(達成レベル) C:理解できる → B:説明できる → A:実施できる

科目達成レベル

(カリキュラム・マップ 2/4)

			健康科学論	生命科学	形態機能論Ⅰ	形態機能論Ⅱ	生体反応論Ⅰ	生体反応論Ⅱ	生命倫理学Ⅰ	行動科学	数理・データサイエンス入門	看護学入門のための	形態機能論実習	生命倫理学Ⅱ	看護学概論	日常生活援助論	療養生活援助論	キャリア開発入門	ライフサイクル論Ⅰ	ライフサイクル論Ⅱ	ふくい看護論Ⅰ	ふくい看護論Ⅱ	日常生活ケア実習	ドリサーチマイン	哲学の人間学	芸術学	歴史学	医療経済学入門	教養特別講義	ゼミナール	総合教養	
アウトカム	コンピテンシー	コンピテンシー小領域 (詳細は1/4の説明を参照)	必1	必2	必2	必2	必1	必2	必2	必2	必2	選1	選1	選2	必1	必2	必2	必1	必2	必2	必2	必1	必1	必1	選2	選2	選2	選2	選2	選2	選2	
			専門基礎												専門												共通教育					
			1年次												2年次												2年次					
			42HSC140	42HSC142	42HSC143	42HSC144	42HSC146	42HSC147	42HSC153	42HSC155	42PHS140	42HSC141	42HSC145	42HSC154	42BAS140	42BAS141	42BAS142	42BAS149	42LSD140	42LSD141	42SOC140	42SOC141	42PRA140	42RES140	GSHSC282	GSHCU280	GSHCU281	GSSNT284	GSHSC283	GSSNT290		
1 医療人としての態度	(1) 人間性の形成とコミュニケーション	① 一般教養																		C	C				C	C	C			C	C	
		② 共感力								C												C	B	B								
		③ コミュニケーション力								C													C	B	B							
		④ プレゼンテーション力																					C	B	C	C						
		⑤ 英語力																								C						
	(2) 全人的理解とプロフェッショナルリズム	① 全人的対象理解	C							C					C	C	C	C	C	C		C	C									
		② 多様性								C					C	C	C	C	C	C		C	B									
		③ 自己管理	C													C	C				B		B									
		④ 課題対応														C	C	C			C	B	B	C								
		⑤ 礼儀とマナー														C	C				B	B	B									
		⑥ 使命感							C				C	C	C	C	C					C				C						
		⑦ 看護の法的基盤	C							C	C			C	C		C					C										
	(3) 看護倫理とヒューマンケア	① 倫理観							C				C	C									C	C								
		② 尊厳・権利擁護								C						C	C						C									
		③ 説明責任							C	C						C	C						C									
		④ 意思決定支援																					C									
2 医療人としての知識・技能	(4) 看護学及び関連領域の知識と根拠に基づいた看護実践	① 対象理解の基礎科学	C	C	C	C	C	B		C		C	C							C	C		C	C					C			
		② 看護実践の専門基礎科学					C	B									C							C								
		③ 看護技術															C	C						C								
		④ 看護過程の展開												C										C								
		⑤ 看護の質と安全													C	C	C							C								
	(5) 特定の健康課題に対応する看護実践	① ライフステージ	C																					C								
		② 健康レベル	C																					C								
		③ 在宅看護													C																	
	(6) 科学的思考と生涯にわたる看護の探求・研鑽	① 科学的研究									C														C							
		② 科学的探究心																							C	C						
③ 生涯学修																		C							C							
3 地域・国際性	(7) 多様なケア環境・地域特性と支援チーム体制・協働	① チーム医療													C									C								
		② 多職種連携													C									C								
		③ 地域包括ケア													C								C	C					C			
		④ グローカルな視点																					C									
	(8) ふくい看護力	① ふくいの医療・保健・福祉									C												C	C						C		
		② へき地医療																					C	C								
		③ 指導力・相談対応力																					C	B								

(達成レベル) C:理解できる → B:説明できる → A:実施できる

科目達成レベル

(カリキュラム・マップ 3/4)

			健康管理論	薬理作用論	疾病論Ⅰ	疾病論Ⅱ	保健医療福祉論	臨床栄養学	環境科学論	看護過程論	看護コミュニケーション論	ヘルスアセスメント論	メリスクマナージメント論	法論	老年看護実践方法論	育成期看護実践方法論	急性期・回復期看護実践方法論	慢性期・緩和ケア看護実践方法論	成熟期看護実践方法論	メンタルヘルス看護実践方法論	習看護実践総合演習	がん看護学	ふくいの在宅看護論	公衆衛生看護学概論	看護英語Ⅰ	ライフサイクルとセクシュアルティイ	子どもの発達と障がい看護論	育児援助論	看護展開実習	看護学研究概論	
アウトカム	コンピテンシー	コンピテンシー小領域 (詳細は1/4の説明を参照)	必1	必2	必4	必2	選1	選2	必1	必1	必1	必1	必1	必1	必3	必1	必1	必2	必2	必2	必2	必2	必2	選1	選1	選1	選1	必2	必1		
			専門基礎									専門																			
			2年次																												
			42HSC 248	42HSC 249	42HSC 250	42HSC 251	42ENV 241	42HSC 252	42ENV 240	42BAS 243	42BAS 244	42BAS 245	42BAS 246	42BAS 250	42LSD 243	42LSD 244	42DIS 240	42DIS 241	42DIS 242	42DIS 243	42DIS 244	42DIS 245	42SOC 243	42SOC 244	42BAS 252	42LSD 242	42LSD 245	42LSD 246	42PRA 241	42RES 241	
1 医療人としての態度	(1) 人間性の形成とコミュニケーション	① 一般教養																													B
		② 共感力										B									B	B								B	
		③ コミュニケーション力					B		B		B										B	B			C					B	
		④ プレゼンテーション力	B				B		B						B										C				B	B	
		⑤ 英語力																								A				B	
	(2) 全人的理解とプロフェッショナルリズム	① 全人的対象理解	C		C	C		B		B	B	B								B		B	C	B	C		B	B	B	B	
		② 多様性									B	B	B		B					B	B	B			C		B		B	B	
		③ 自己管理																												B	
		④ 課題対応	C				C		C	B	B	B	B	B	B					B		B	B	B					B	B	
		⑤ 礼儀とマナー									B	B			B															B	
		⑥ 使命感									B	B			B	B														B	
		⑦ 看護の法的基盤					C								B						B		C	C	C					B	
	(3) 看護倫理とヒューマンケア	① 倫理観													B					B	B	B	B							B	B
		② 尊厳・権利擁護									B	B	B							B	B	B	B	C	C		B	B		B	
		③ 説明責任									B	B	B							B		B								B	
		④ 意思決定支援																		C		B	C	C						B	
2 医療人としての知識・技能	(4) 看護学及び関連領域の知識と根拠に基づいた看護実践	① 対象理解の基礎科学		C			B		B	B	B	B			B	B	B	B	B	B	B	B		C		B	B	B	B		
		② 看護実践の専門基礎科学		C	C	C	B		B			B				B	B	B	B	B	B	B							B		
		③ 看護技術										C				B	B	B	B	B		B								B	
		④ 看護過程の展開								C						B	B			B				B						B	
		⑤ 看護の質と安全		C						C		C	B			B		B	B	B	B									B	
	(5) 特定の健康課題に対応する看護実践	① ライフステージ				C		C							B	B	B	B	B	B	B	B	C							B	
		② 健康レベル									B		B			B	B	B	B	B	B	B	C							B	
		③ 在宅看護																						B	C					C	
	(6) 科学的思考と生涯にわたる看護の探求・研鑽	① 科学研究								C												B									B
		② 科学的探究心																				B								B	B
		③ 生涯学修														B															B
	3 地域医療性・国際性の	(7) 多様なケア環境・地域特性と支援チーム体制・協働	① チーム医療				C	C						C		C		B	B	B	B	B	B		B					B	
② 多職種連携							C						C		C		B	B	B	B	B	B	C				B		B		
③ 地域包括ケア							C																B	C					C		
④ グローカルな視点															C								B	C							
(8) ふくいの看護力		① ふくいの医療・保健・福祉	C				C		C															B							
		② へき地医療	C				C																	B	C						
		③ 指導力・相談対応力	C																												

(達成レベル) C:理解できる → B:説明できる → A:実施できる

